

種名	<p><u>ク ロ ツ グ ミ</u></p> <p><u>Streptopelia orientalis</u></p> 													
分類	スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科													
特徴	木の梢で黄色いくちばしを大きくあけてさえずる、黒と白の鳥。夏鳥として渡来し、北海道から九州までの各地で普通に繁殖する。国外では、中国中部で局地的に繁殖するだけの、分布の狭い鳥である。西南日本では越冬する個体がある。													
生活	日本のツグミ属ではもっとも小さい種類で、丘陵地から 1000m以下の山地の林に棲息する。広葉樹林に多いが、スギなどの植林地でも見られ、木がまばらに生えていたような環境にも棲む。つがいで縄張りを持ち、オスは木の梢で大きな声でさえずる。主に地上をはね歩きながら採餌する。ゴミムシなどの昆虫やミズを捕らえる。木の枝の上に藻類や枯れ草、土などを材料に椀形の巣を作る。産卵期は5～7月。卵数は3～4個。抱卵日数は12～13日位。													
声	もっともすばらしい森林の歌い手。さえずりは変化に富み、声量も大きく音楽的なさえずりである。とても正確には表記できないが「キョコ、コッキイー、ケコケコ、チョロ」などとさえずり、時々、ウズイスの谷渡りなど他の小鳥の鳴きまねも取り入れる。地鳴きは「キョキョキョ」と少し低めの声である。													
見分け方	オスは特徴のある色彩で見誤ることはない。メスはマミジロのメスに似るが眉斑はなく、下雨覆から脇腹にかけては橙色。													
時期	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-	
その他	全長(L)22cm 翼開長(W)34cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														